

# 人類学演習 II 談話会

日時：10月17日 16:30～18:00

場所：理学部2号館 402号室

< 演者 >

近藤 修 先生

< 講演テーマ >

シリア・デデリエ洞窟2008年調査

< 概要 >

デデリエ洞窟はシリア北西部、トルコ国境に程近く、死海地溝帯の北端に位置する旧石器時代遺跡である。1987年に確認され、1989年より今日まで日本とシリアの合同調査隊によって断続的に発掘調査が行われてきた。洞奥では、ネアンデルタール人骨(MNI=7)を含む後期ムステリアンの堆積が、洞口部下層ではヤブルディアン(前期旧石器末)石器群が、上層ではナトゥーフIAN(続旧石器時代)の石組み焼失住居跡が検出されている。長年の調査により、洞窟全体の堆積シーケンスが明らかになった結果、前期旧石器時代から続旧石器時代にわたる約20万年間の人類史の一端を担う実物証拠を産出する遺跡となった。2008年調査ではナトゥーフIAN住居調査の終了、ヤブルディアン石器群とその層位確認に加え、洞奥で新たなムステリアン幼児人骨を含む堆積の精査を行った。これまでの成果を概観しつつ、今年度調査の予備的報告を行う。

今後の予定：

10月24日 石田研

10月31日 休講

担当：田口裕祐